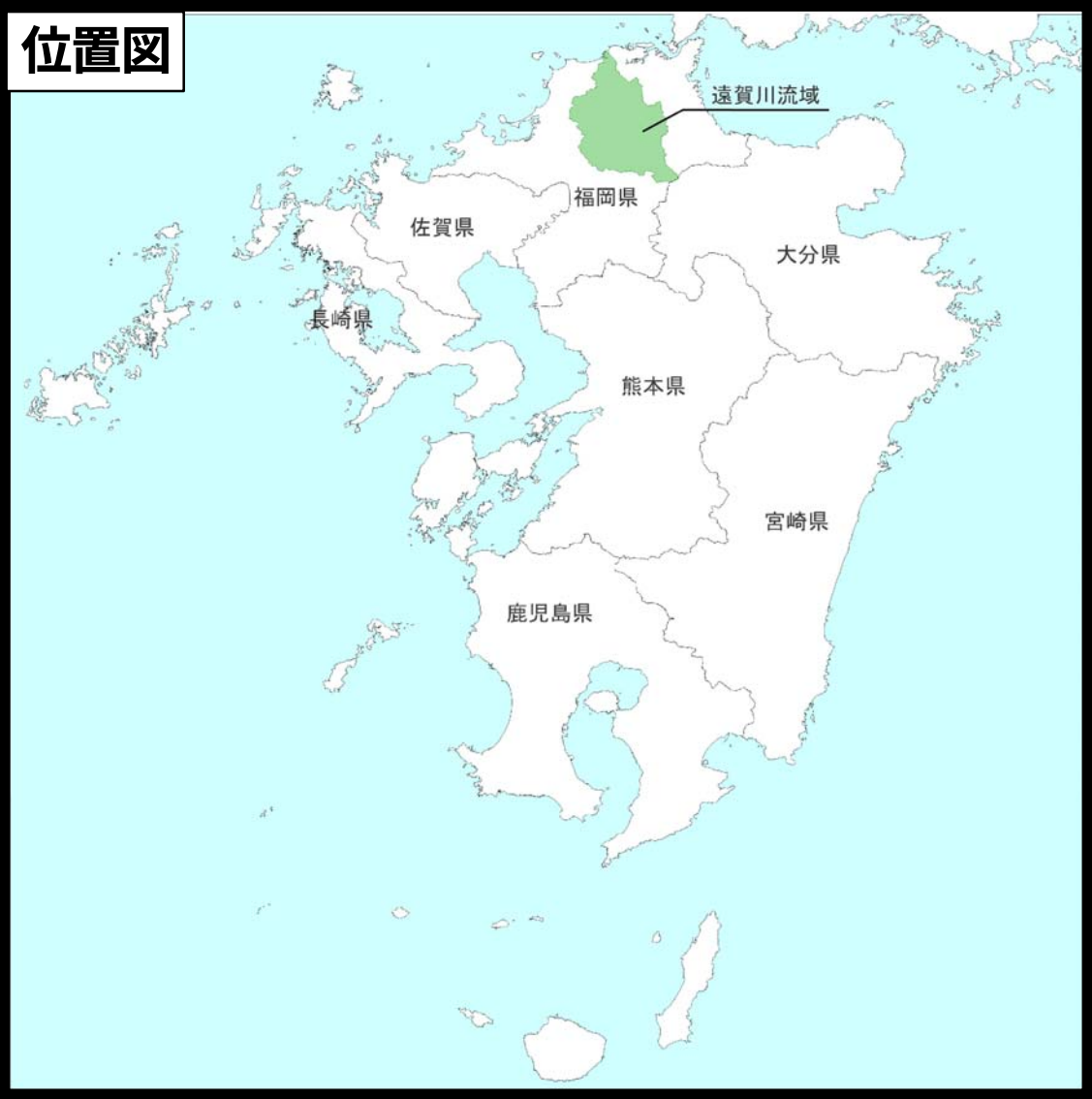
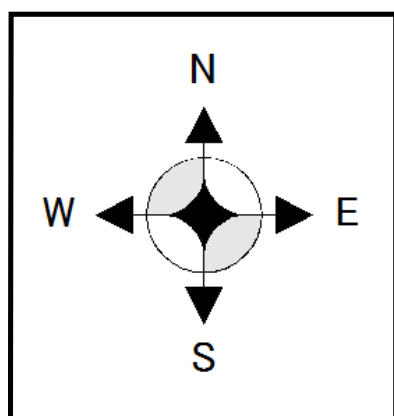


遠賀川水系洪水浸水想定区域図
(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))
(遠賀川、彦山川、犬鳴川、西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川)



- 1.説明文
(1) この図は、遠賀川水系遠賀川、彦山川、犬鳴川の洪水予報区間と西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川及び金辺川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
(2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により遠賀川、彦山川、犬鳴川及び西川、黒川、笹尾川、八木山川、穂波川、中元寺川、金辺川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
(4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の影響に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していることと、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていることから、この区域の境界は厳密ではなく、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものとなっています。
※注) 国管理区間以外については、溢水・越水のみを考慮しています。
- 2.基本事項等
(1) 作成主体 国土交通省九州地方整備局遠賀川河川事務所
(2) 公表年月日 平成28年5月30日
(3) 対象となる洪水予報河川および水位周知河川
・遠賀川水系遠賀川(実施区間) 左右岸:福岡県嘉麻市中益字火渡田709の1705番地先の火渡橋から海まで
・遠賀川水系彦山川(実施区間) 左岸:福岡県田川郡添田町大字落合字打ヶ瀬山1379番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県田川郡添田町大字落合字山下748番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系犬鳴川(実施区間) 左岸:福岡県宮若市小伏字北川原1894番の2地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県宮若市小伏字金生字藤原1078番の2地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系西川(実施区間) 左岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字今吉賀字正堺157番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県遠賀郡遠賀町大字水守字長江口959番の1地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系黒川(実施区間) 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字香月字葉川3805番の3地先の三条橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系笹尾川(実施区間) 左右岸:福岡県北九州市八幡西区大字野面字波打1244番の1地先の四郎丸橋から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系八木山川(実施区間) 左右岸:福岡県宮若市宮田字天神下2419番地の取水堰下流端から犬鳴川合流点まで
・遠賀川水系穂波川(実施区間) 左岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字中屋字下川原13番の1地先から遠賀川合流点まで
右岸:福岡県嘉穂郡桂川町大字寿命字前川原966番地先から遠賀川合流点まで
・遠賀川水系中元寺川(実施区間) 左岸:福岡県田川市大字位登字毛無1508番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡川崎町大字池尻字宮ヶ坪2222番の2地先から彦山川合流点まで
・遠賀川水系金辺川(実施区間) 左岸:福岡県田川郡香春町大字香春字中川原1202番地先から彦山川合流点まで
右岸:福岡県田川郡香春町大字香春字明和区1549番地先から彦山川合流点まで
(4) 算出の前堤となる降雨 日の出堤上流域の1.2時間総雨量59.2mm
(5) 関係市町村 北九州市、直方市、飯塚市、田川市、中間市、宮若市、嘉麻市、水巻町、遠賀町、小竹町、鞍手町、添田町、糸田町、大任町、福智町

- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
 - 市町境界
 - 河川等範囲
 - 浸水想定区域の指定の対象となる洪水予報河川および水位周知河川

1:50000 (A0)
2000 0 1000 2000 4000 6000m

『国土地理院の電子地形図25000』『甘木』『小石原』『英彦山』『大宰府』『大隈』『筑前山田』『伊良原』『篠栗』『飯塚』『田川』『豊前本庄』『脇田』『直方』『金田』『行橋』『筑前東郷』『中間』『徳力』『吉木』『折尾』『八幡』『若屋』を掲載